

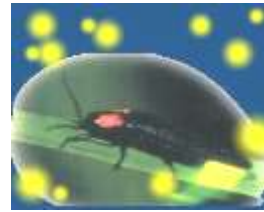
# NPO 富里のホタル

NPO法人 NPO富里のホタル 編集委員会 発行 2011.5.10 第20号

## ■ホタル観賞ウォーキング開催 地蔵谷津でゲンジホタルの光の舞を観よう！

「ふわあ〜」と飛びながら、一斉に光り、一斉に消える…。それをゆっくりと繰り返す、まさに幻想的なゲンジホタルの光の舞を、今年もご覧下さい。4月下旬には、幼虫の上陸を確認しました。ホタル達も飛ぶための準備を進めているようです。ご家族で、友人同士で是非ご参加下さい。

- ◆日時: **6月11日(土)** 午後7時スタート～9時ゴール  
(注)雨天の場合は、12日(日)に順延します。
- ◆受付: 午後6時30分より「富里中央公園」駐車場にて
- ◆会費: 資料代として大人200円
- ◆コース: 公園→地蔵谷津→公園を巡る周回コース、約5km
- ◆申込み: ☎090-3499-9161 又は、[メール okamoton@themis.ocn.ne.jp](mailto:okamoton@themis.ocn.ne.jp) までご連絡下さい。



虫もいるので、  
履スポンがオススメです。

スニーカーなど、  
すべりにくく  
歩きやすい靴で来てね。



## ●天神谷津の作業進捗状況 周回路ほぼ開通 伐採木の焼却も進む



▲綺麗な下刈りされた北西斜面林に咲くコブシやサクラの花

今年2月19日より着手した天神谷津の進入路整備は、その後、毎月第1と第3土曜日に実施され、5月7日までに計6回、延べ80人の会員により順調に進んでいます。主な作業は、最奥部にある竹林と北西斜面林の伐開ですが、大量の伐採木の処理と斜面林の足場の確保に悩まされました。大木に絡み付いた太い藤ツルが、更に行く手を阻みました。それでも、自然観察会(4/9開催)で周回できるまでに仕上がり、斜面林の高台からの展望は、素晴らしくなりました。残る作業は、ホタル観賞シーズンまでに歩道の整地やロープ柵の設置など、安心して通れるよう計画的に進めていきます。会員の皆様のご協力をお願いします。



▲足場の悪い斜面林を整備する会員



▼勢いよく炎を上げて燃える伐採木(竹や木)の山

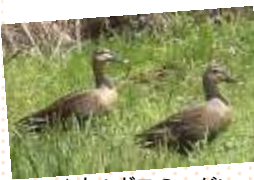


▲竹林を切り開いて整備された歩道

▼谷津を見渡せる、新緑に包まれた散策路



## ■天神谷津で動植物調査 ~多様な動植物を再確認~



▲カルガモのつがい



▲ウワミズザクラ



5月5日(木)、会員6名で天神谷津の春の動植物調査を実施しました。植物を主に、約170種類を確認。予想以上の種類の多さに、改めて天神谷津の“生命のにぎわい”を認識する事が出来ました。今後も定期的に行う予定です。野鳥、昆虫に詳しい方のご協力をお待ちしています。

## ●「ちば県民だより」6月号掲載のため取材を受ける

私達の活動が目目され、ちば県民だより「ガンバッテます！」の欄に掲載される予定です。4月15日(金)午後、取材に訪れた千葉県総合企画部報道広報課の職員等3名の皆さんを、役員3名により活動拠点の天神谷津にご案内いたしました。

私達の活動内容、谷津の生物多様性、将来構想などについて説明すると、次々に質問を受けました。どんな記事になるかは、6月5日発行のちば県民だよりをお楽しみに！



## ■自然観察と山菜試食会 “楽しく探って、美味しさにびっくり”

▼説明を聴く参加者の皆様(天神谷津)



曇り空に時々小雨が混じる4月9日、子供2人を含む23名の参加者で開催。天神谷津に到着した後、食べられる野草と毒のある野草についての解説を受け、全員で食材の調達を始めました。セリ、ノビル、ツクシ、イタドリなど十数種の野草を天ぷら、おひたし、和え物などに料理して試食したところ、以外なほどの美味しさに、皆さん大変満足の様子でした。後日、「この日以来、野草を見る目が変わってしまった」との感想が寄せられました。



▲出来立ての料理が次々と運ばれる(中沢区集会場)

## ●“里山に託す私たちの未来”第8回里山シンポジウム いすみ市で開催

里山は、多くの生き物の命のゆりかごでもあり、命のにぎわいが見られる場所です。しかし、オーバーユース(資源の過剰採取)とアンダーユース(手入れ不足)の同時進行で、極めてアンバランスな状態に置かれています。その結果、里山の荒廃と消失が進んでしまいました。テーマは、「里山里海と食」。そこで、里山からの恵みを「食」という切り口から考え、地域資源の価値を再認識し、地元力の見直しが議論されます。私達の活動に関わる内容でもあり、皆さんの参加を募っています。

- ◇日時: 5月22日(日)10時～16時 ◇会場: いすみ市夷隅文化会館 資料費500円
- ◇申し込み: ☎090-3499-9161(草野)



## ■富里市“市民活動支援補助金”に応募

4月28日、私達は、富里市の「市民活動支援補助金」制度に対して交付申込書を提出しました。この制度は、市民活動団体が自由かつ自発的に行う、公益的な活動を支援するために創設されたものです。審査が通れば、15万円の補助金交付を受けることができます。天神谷津・散策路の整備や、秋の講演会に活用したいと考えています。

## ★天神谷津★ いのち 生命のにぎわい

## ニホンアマガエル(日本雨蛙)



4/26撮影

暖かさが増した天神谷津では、あちらこちらでニホンアマガエルと出会えます。体長は、3～4cm程度の、小さなカエルです。普段は、背中側が黄緑色ですが、まわりの環境に応じて、黒っぽいまだらの入った灰褐色の保護色に変える事ができます。指先には吸盤があるので、植物に張り付いて、クモや昆虫を食べ、繁殖期の春以外は森林で暮らす個体が多いようです。名前の由来は、雨が降りそうになると「グエツ、グエツ」とにぎやかに鳴くからだとそうで、この鳴き声を「雨鳴き」「レインコール」などと呼ぶそうです。このカエルは、鳥やヘビ、イタチなどの餌となり、生態系を下支えする役目を担っています。希少種だけではなく、このニホンアマガエルのような、見慣れた生きものがふんだんに生きている事によって、豊かな生態系が成立するのでは…と考えます。

## 会員紹介

ささき つとむ 佐々木 努 さん(72才)

私は 1939 年生まれで、第一の故郷は宮城県女川町(漁港)です。大学卒業後、化学工場でのプラント設計建設の仕事をして、定年退職後は ISO 規格の審査員を 10 年余やり、H22 年末リタイアしました。私の母の実家は、宮城県の鹿又という田舎で、家は田圃に囲まれておりました。子供の頃、よくその実家に遊びに行き、トンボ、イナゴ捕りや蛍狩りを、又農業用水の掘割りで水泳ぎやフナ、ドジョウ、ナマズ釣りをしたことが、日本の原風景の中での幼き日の遊びの思い出です。昨年 10 月富里市の創年セミナー「里山自然観察会」の際、第二の故郷、富里に移り住んで 30 年余にして富里にホタルが生息していることを知り、誇らしさと懐かしさを感じました。里山の自然環境の整備と豊かな生態系の保持という、地味かもしれないが日本古来の姿を再生することへの大切さに共感を覚え、孫たちの世代へホタルと共生できる自然を残すことに、微力ながら役に立てればとの思いで入会させて頂きました。



## 会員募集

★ ホームページ NPO 富里のホタル 開設、アクセスお待ちしています !! ★

<http://www4.ocn.ne.jp/~okgo/>

NPO 富里のホタルは、中央公園や谷津田で、ホタル発生のための環境保全活動を行っています。活動に関心のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。(年会費: 2000 円)

現在の会員数: 0132

【連絡先】NPO 法人 NPO 富里のホタル 理事長 草野孝江 ☎ 090-3499-9161